

広報

かたがみ



第62回国民体育大会
秋田わか杉国体

特集号



かたがみに
汗と笑顔と感動を

ありがとう!!



潟上市章

特集号

平成19年(2007年)

11月15日発行



第62回国民体育大会 秋田わか杉国体

たくさんの感動を残し閉幕

秋田県選手団 念願の天皇杯・ 皇后杯を獲得

9月29日から10月9日の11日間にわたり開催された第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」。秋田県は、念願としていた天皇杯（男女総合成績1位）と皇后杯（女子総合成績1位）を大会史上初めて獲得しました。

46年ぶり2回目の秋田県開催となった今大会には、全国から約2万5千人の選手らが集い、県内各地で行われた競技で熱戦を繰り広げました。

また、第7回全国障害者スポーツ大会「秋田わか杉大会」が、10月13日から同15日までの日程で開催されました。

市内出場選手の活躍も多く聞かれるなど、「秋田わか杉国体」「秋田わか杉大会」両大会とも盛会裡に幕を閉じました。



秋田わか杉大会開会式では、菅原三朗さん（昭和久保）が、総勢408人の秋田県選手団の団長として堂々の入場行進（写真提供 / 県障害者スポーツ協会）



初の天皇杯・皇后杯を獲得。秋田県選手団が解団式で万歳三唱（写真提供 / 秋田魁新報社）

潟上市内各会場を訪れた観客は 延べ約2万4千人

潟上市では、相撲競技とレスリング競技（少年）が開催され、各競技会場は、連日大勢の観客で埋め尽くされました。半世紀に一度の国内最大規模のスポーツの祭典を見ようと会場を訪れた観客は、延べ約2万4千人。この大声援は選手たちの活躍を後押ししたに違いありません。

国体成功のキーワード「民泊」は、それぞれの民泊協力会のみなさんが、選手・監督たちを「家族」として受け入れ、心温まるおもてなしで交流を深めました。

民泊協力会やボランティアのみなさんなど、さまざまな形で数え切れない数の方々が一丸となり盛り上げた国体。全国から集まった選手・監督たち、そして私たちの心にいつまでも残る大会となりました。



相撲競技

(少年・成年)

とき：9/30～10/3 ところ：天王総合体育館

成年A個人で優勝した渋谷選手の激しいつっぱり

個人戦では、成年Bで日景清悦さん（比内養護学校たかのす分校教員）が、成年Aでは、渋谷さん（日本通運）が見事優勝し、地元の期待に応えました。大会3日目の10月2日には、三笠宮瑶子女王殿下が競技をご観戦。たくさんの方のお出迎えを受け、成年A団体予選の試合を熱心にご覧になりました。

また、この日、公開演技として県内女子選手が試合を披露。男子顔負けの激しい立会い、取り組みで観衆の目を引きつけていました。

会場では、ボランティアとして天王中学校、天王南中学校の生徒たちがプラカード持ちや式典の進行などで大活躍。一般のボランティアのみならずも駅での案内や会場の清掃などで大会を支えてくれました。

9月30日から10月3日まで、天王総合体育館を会場に相撲競技（少年・成年）が行われ、会場には、迫力満点の取り組みを一目見ようと、連日たくさんの観客が詰め掛けました。

地元の大応援を受け試合に臨んだ秋田県チーム。団体戦では、少年、成年Bが決勝トーナメント1回戦で惜しくも敗退しましたが、成年Aは5位入賞を果たしました。



秋田県勢の戦績（敬称略）

少年	団体	決勝トーナメント進出	
	個人	西方 大介（金足農業高校3年）	決勝トーナメント進出
		佐藤 且也（平成高校3年）	決勝トーナメント2回戦進出
		伊藤 将明（金足農業高校3年）	決勝トーナメント2回戦進出
成年B	団体	決勝トーナメント進出	
	個人	日景 清悦（比内養護学校たかのす分校教員）	優勝
		館山 孝（鷹巣農林高教員）	第5位
成年A	団体	第5位	
	個人	渋谷 悟（日本通運）	優勝





三笠宮瑶子女王殿下が競技をご観戦



会場は熱気と大声援に包まれ、選手たちの緊張もさらに高まります



日景先生の応援にかけつけ成年Bの勝利に大喜びの比内養護学校の生徒たち



国体史上初めて、本土表に女子相撲が登場。相撲競技を男女共通のスポーツに発展させるため、秋田県では全国に先駆けた取り組みがなされています



選手たちは休憩所でリラックス



「青森がんばれどー」



わたしたちの声援、選手に届いたかな



しっかりと役目を果たした中学生たち

インタビュー

Interview



スムーズな大会進行に一役：放送委員

佐藤めぐみさん（飯田川下虻川）写真左

菅原 ^{まい} 舞さん（秋田明德館高校3年・昭和久保）写真右

次々と試合が行われていく相撲競技。この速いテンポを作り出すために重要な役割を担ったのが、放送委員のみなさんでした。一般応募で参加したお二人にインタビュー。

「会場の大歓声は心地よかった。一生に一度かもしれない地元国体で、自分の声をみなさんに届けることができうれしかった。いい思い出になりました」と佐藤さん。菅原さんは「国体という大きな大会で、放送ができてうれしかったです。2年前から研修を積んできて、大変だったこともあったけれど、無事に終わることができてよかったです。この国体のおかげで、相撲の競技放送という特技が増えました」と笑顔で話してくれました。



レスリング競技

(少年)

とき：10/5～10/8 ところ：昭和体育館

昭和体育館を会場に10月5日から8日まで開催されたレスリング競技・少年。今大会のために設置された仮設スタンド（446席）は連日満席で、会場は立ち見客が出るほどの人出で賑わいました。

この大声援の中、秋田県勢が大活躍。地元・飯田川下虻川の伊藤晃平くん（秋田商業高校3年）が、フリースタイル66kg級で5位入賞。そのほか、秋田県チームは、準優勝4人、3位3人と、出場選手8人全員が入賞を果たす、素晴らしい結果を残しました。また、五城目町を会場に開催された成年では、潟上市出身の3人が大活躍し、総合優勝に大きく貢献しました。

そして、記録や放送、環境美化などを羽城中学校、秋田西高校の生徒や一般ボランティアのみなさんに協力していただきました。競技の進行がスムーズに行われた裏には、このような人たちの支えがありました。





お疲れさまでした

お風呂上がりで超リラックスの3人の秋田県選手。左から、フリー120kg級準優勝の齊藤信之介くん、フリー66kg級5位の伊藤晃平くん、グレコ96kg級3位の菊地匠くんです。「1回戦で負けてしまったらどうしようと地元の声援がプレッシャーになって体が動きませんでした。でも2回戦からは逆に力になりました。あんなに応援してもらったことはありません。練習、練習の毎日で家にいる時間より合宿所にいる時間の方が長かったです。もっと上を狙いたかったのですが…。とりあえず終わりました。ありがとうございました」と晃平くん。首にヨン様風にタオルを巻いて、はじけるような笑顔を見せてくれました。



試合から一瞬も目が離せない
得点・時計補助員



豪快な投げ技が決まる



熱い声援を送る大久保小児童



「おもてなし隊」がプレゼントを手渡しました



「おつかれさま」の一言が心に届くんです



ドクター大忙し!



心配そうに「おらほの選手」を見守る協会のみなさん



選手と協会が一体となって応援



一筆一筆心をこめて



菅原ひかりさんの家に世界のメダリストが大集合

昭和久保の菅原宏樹さんの家には、全日本女子レスリングの栄コーチはじめ、吉田沙保里さん、伊調千春さん、伊調馨さんら世界の金メダリストたちが勢揃い。国体のエキシビジョンマッチに出場するため、三重県にレスリング留学をしている菅原ひかりさんとのご縁で来秋したものです。ひかりさんがお世話になっているという吉田沙保里さんのお母さんも一緒です。食欲旺盛で、きりたんぽをお代わりし、終始笑顔で、楽しい会話が弾んでいました。

エキシビジョンマッチ トピックス Topics

菅原ひかりさん(昭和出身) 世界王者と対戦



10月8日、成年の会場となった広域五城目体育館では、世界選手権金メダリストの伊調千春・馨姉妹など日本トップクラスの女子選手による2試合のエキシビジョンマッチが行われました。その1試合目に、昭和久保出身の菅原ひかりさん(一志中2年・三重県)が、伊調千春さんと対戦。鍛え上げられた技とスピードで観衆を魅了しました。

レスリング競技 総合優勝 力を合わせ目標達成



見事総合優勝達成の秋田県チーム

レスリング秋田県チームは、昨年の兵庫国体での総合3位から躍進し、総合優勝を達成しました。10月8日に広域五城目体育館で行われた総合表彰式で、宮原章監督（成年）に賞状が、鈴木信行監督（少年）にトロフィーが手渡されました。

順位に応じて与えられる得点の合計を競うため、少年と成年合わせて15人が出場し、全員が入賞を果たした秋田県は、2位の静岡県を大きく引き離しての総合優勝でした。中でも、潟上市出身の選手、少年の伊藤晃平くん、成年の門間順輝さん、板倉史也さん、岩崎健太さんの活躍が光りました。



**レスリング成年
フリースタイル84kg級
準優勝**

門間 ^{なおき}順輝さん
(飯田川飯塚出身)



**レスリング成年
グレコローマンスタイル66kg級
準優勝**

板倉 ^{ふみや}史也さん
(天王字追分出身)



**レスリング成年
グレコローマンスタイル60kg級
第3位**

岩崎 ^{けんた}健太さん
(昭和地久保)

秋田県勢の戦績（敬称略）



少年フリースタイル

- 55kg級 利部 裕（秋田商業高校3年） 準優勝
- 66kg級 伊藤 晃平（秋田商業高校3年） 第5位
- 74kg級 桑原 一直（秋田商業高校3年） 準優勝
- 84kg級 佐藤 良樹（秋田商業高校3年） 第3位
- 120kg級 齊藤信之介（明桜高校2年） 準優勝

少年グレコローマンスタイル

- 50kg級 菅原 嶺人（秋田商業高校3年） 準優勝
- 60kg級 小林 雄平（秋田商業高校3年） 第3位
- 96kg級 菊地 匠（秋田商業高校3年） 第3位

成年フリースタイル

- 74kg級 加藤 陽輔（秋田県体育協会） 第3位
- 84kg級 門間 順輝（日本体育大学3年） 準優勝
- 96kg級 横山 秀和（秋田商業高校教員） 優勝
- 120kg級 吉田清太郎（秋田市役所） 優勝

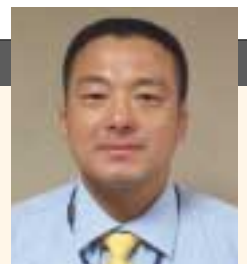
成年グレコローマンスタイル

- 55kg級 鈴木 元泰（秋田市役所） 第3位
- 60kg級 岩崎 健太（オールホンダ） 第3位
- 66kg級 板倉 史也（青山学院大学4年） 準優勝

インタビュー

成年の試合をジャッジ

秋田県レスリング協会副審判委員長
伊藤 幸夫さん（飯田川下蛇川）



五城目町出身で、自身レスリングで国体に出場した経験を持つ伊藤さん。審判として出場した今国体の感想を伺いました。

「公平で正確なジャッジを心がけて大会に臨み、無事に終わることができてよかったです。連日満員の会場の中で、決勝戦の2試合やエキシビションマッチなどのレベルの高い試合の審判をすることができ、これからの自信になりました。審判としてマットに上がり、地元国体の雰囲気を感じることができて、本当にいい思い出になりました」



秋田わか杉大会

きっと出会える! 夢と感動

2007 第7回全国障害者スポーツ大会

心温まる交流の輪が広がった3日間

第7回全国障害者スポーツ大会「秋田わか杉大会」が、10月13日から15日までの3日間、県内7市町で個人競技6、団体競技7、オープン競技1の計14競技が実施されました。

国内最大の障害者スポーツの祭典に、全国から約5,500人が参加。選手役員、そして大会を支えるボランティアや観客が一体となって熱戦を繰り広げ、数多くの出会いと感動がありました。



アーチェリー
男子リカーブ30m
ダブルラウンド
第3位

佐藤 ^{まなぶ}学さん
(天王字一向)

2回目の出場だったので、落ち着いて競技することができ、3位という結果を収められました。前回出場した一昨年の岡山大会では、7位だったので練習の成果が出せたかなと思っています。



試合前の調整をする佐藤さん
(写真提供/県障害者スポーツ協会)

5年ほど前に、車いすの仲間と体験したのを機に始めたアーチェリー。この競技は健常者と同じ大会に出場できます。アテネ五輪銀メダルの山本博さんと同じ年なので、「打倒・山本」を目標に今後も競技を続けていきます。

たくさんのサポーターや観客に支えられたこの大会を通じて、障害を持つ人に対する見方が変わったのではないかなと思います。



秋田わか杉大会秋田県
選手団団長
秋田県障害者スポーツ
協会会長

菅原 ^{さぶらう}三朗さん
(昭和大久保)

障害者スポーツ大会は、国体と違って、天
皇杯、皇后杯のように優勝を競う大会ではあり
りません。選手たちはスポーツを通して全国
の仲間と交流し、スポーツができることの喜
びを知ることによって人として大きくなれる、
そんな大会です。会場の至る所で介添えする
ボランティアや大会関係者、選手たちに、い
たわりの心や相手を思いやる心が芽生え、緊
張の中にも温かい空気の中で各種競技が繰り
広げられました。

閉会式会場で、障害に負けず熱戦を繰り広げ
た選手たちの満げな顔、輝くような笑顔を見
た時、大会のキャッチフレーズ「きっと出会え
る 夢と感動」ということばのとおりの大
会を支えてくれた、本当にいい大会でした。
感謝を申し上げます。

秋田県フライングディスク協会副会長
秋田わか杉大会ボランティア

佐藤 ^{ゆうじ}勇二さん (天王字北野)

わか杉国体でもボランティア、わか杉大会でもフライングディスク競技のスタッフ、ボランティアとして忙しい日が続きましたが、どちらも選手たちの頑張る姿を目のあたりにし、一緒に感動を味わうことができました。特に、わか杉大会では、選手たちに不安を与えないよう気を使いました。「親切な対応」と「ごはんがおいしい」と喜んでもらいうれしかったですね。

また、皇太子さまがフライングディスク競技をご観戦され、私が競技の説明をしました。緊張の20分間でしたが、一生の思い出となりました。わか杉国体も、わか杉大会も最高でした。



活躍

秋田県の天皇杯・皇后杯獲得に貢献
秋田わか杉国体に出場したみなさん
(市関係者にインタビュー)

剣道成年女子 優勝

鈴木 理恵さん

天王みどり学園
天王字上江川



長期間の強化が実り、優勝できた瞬間みんなで泣きました。すごい声援、今までにない雰囲気での試合でしたが、とても楽しかったです。剣道競技の全種目制覇は、自分たちを支えてくれた人たちへの最高の恩返しになったと思います。みどり学園のみんなの応援がとてもうれしかったです。

剣道少年女子 優勝

三浦さゆりさん

秋田商業高校3年
天王大崎

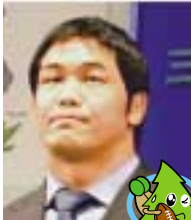


小学3年生から始めた剣道。秋田商業高校に入り秋田国体に向けて3年間強化練習を積み挑んだ国体で、優勝できて本当にうれしかったです。プレッシャーはすごかったけど、応援に来てくれた方々の声が力になって勝てました。努力は決して裏切らない。後輩たちにも頑張ってもらいたいです。

ラグビー成年 優勝

菅原 大志さん

トヨタ
昭和久保出身

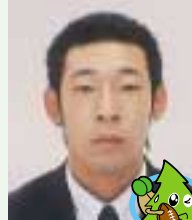


社会人トップリーグのトヨタでラグビーをやってきましたが、ふるさと選手として現役最後の試合で、自分を育ててくれた秋田に「優勝」という形で恩返しできて満足です。昔の仲間と一緒にプレーできて、楽しくて、楽しくて。人生のめぐり合わせに感謝しています。秋田国体のおかげで最高のラグビー人生となりました。

ラグビー成年 優勝

小玉 健司さん

最上屋
天王字北野

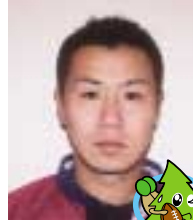


地元の大声援、スタッフや仲間の力強い応援のおかげで優勝することができたと思います。運良く、地元開催の国体に出場でき、いい経験になりました。会場での大声援、大フィーバーは忘れられません。ありがとうございました。

ラグビー成年 優勝

川上 淳さん

佐藤海事
飯田川飯塚



地元開催の国体に選手として参加できたこと、そして優勝することができて本当にうれしく思います。『絶対優勝!』という思いでチーム一丸となって頑張ってきましたので、満足しています。応援してくださったたくさんの方々、本当にありがとうございました。

銃剣道少年男子 第3位

桐生健太郎さん

秋田西高校3年
天王字上北野



みなさんの応援のおかげで、自分の力以上のものが出せました。以前負けた香川を破っての3位はうれしいです。地元開催、主将、しかも『最低ベスト4』とみんなに話していたので、とても緊張しましたが、高校最後の大会を楽しむことができました。

バレーボール 少年女子 第3位

佐藤 瞳さん

聖霊高校3年
昭和久保



中学から始めたバレーボールですが、高校での部活動は予想以上に厳しくて大変でした。私はセンタープレーヤーですが、このチームでの自分の役割は『ブロック』なので声を出して、気合いを入れて頑張りました。最後の大会で国体3位という好成績を収めることができたので、一生の思い出になりました。

バスケットボール 成年男子 第3位

菊地 勇樹さん

秋田ゼロックス
飯田川和田妹川



大会前にケガをしてしまい、ベストな状態で試合に臨めなかったことや3位という結果に少し悔いが残ります。でも、地元の大声援が自分たちを後押ししてくれました。たくさんの人たちが自分たちのプレーを見て、バスケットを身近に感じてくれたらうれしいです。

柔道少年男子

かつひと
齋藤 雄仁さん
秋田高校3年
天王字追分



小学校5年生のときから強化選手として、準備をしてきた今国体。先鋒として出場し、自分は勝つことができましたが、チームは1回戦で負けてしまいとても悔しいです。すごい声援の中、試合をすることができてうれしかったです。

水球少年男子
第6位

しょう
猿田 将さん
秋田西高校3年
飯田川飯塚



秋田国体で勝つために長い期間準備をしてきたチームのキャプテンだったので、プレッシャーがありました。たくさんの方の応援の中、自分のやってきたことをやりきることができました。得点を決めたときのあの歓声は忘れられません。

空手道少年女子
第4位

ちひろ
門間 千紘さん
秋田工業高校2年
飯田川飯塚



地元での国体でかなりプレッシャーがあったので、勝ってホッとしています。準々決勝では、会場の応援が力になり、ラスト10秒で逆転勝ちすることができました。町内の人が作ってくれた横断幕が元気をくれました。感謝しています。

水泳少年女子A

みどり
菅原 翠さん
能代北高校3年
飯田川下虻川



観客がいつもの大会の倍以上で緊張したけど、これまでの苦しい練習と応援のおかげで自己ベストタイ記録を大舞台で出すことができました。少年女子のキャプテンとしてチームをまとめるのに苦労しましたが、最高の指導者と仲間と巡り会えてよかったです。

陸上少年女子共通

せな
関谷 世奈さん
和洋高校2年
昭和久保



初めての国体出場で3日前から緊張が続いていたのですが、本番では調子が良く、自己ベストタイの好記録を出すことができました。仲間や先生、家族の応援もあり楽しく試合をすることができましたが、あと一步のところ決勝進出できなかったのが、次は、今回の悔しさをバネに絶対全国入賞という夢を叶えたいと思っています。

陸上少年女子A

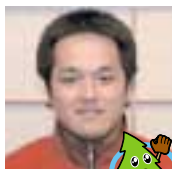
まいこ
保坂真衣子さん
和洋高校3年
昭和豊川株山



大会前にケガをしてしまい、納得のいく結果を残すことはできませんでしたが、高校最後の大会が地元開催の国体ということで、出場することができてうれしかったです。とてもいい経験になりました。高校卒業後は秋田を離れますが、大好きな陸上はこれからも続けます。今度は社会人として国体に出場し、いい成績を出せるよう頑張ります。

軟式野球一般A

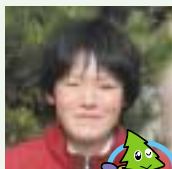
たけひろ
鎌田 雄大さん
全農あきた
飯田川和田妹川



スタンドを埋め尽くした地元のみなさんから、声援を受けて試合することができ感動しています。4番としてランナーを帰すことができなかったのが残念ですが、来年も国体出場を目指し頑張ろうと思います。

カヌー少年女子

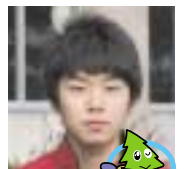
あい
伊藤 愛さん
五城目高校1年
飯田川飯塚



中学まではバレーボールをやっていましたが、経験したことのないスポーツをやってみたかったことと、大きな大会に出れる可能性のあるカヌーを選び、運良く1年生で国体に出場することができました。来年も再来年も出場できるように、しかも結果を残せるよう、これから一生懸命練習しようと思いました。

カヌー少年男子

たかひろ
伊藤 崇将さん
五城目高校3年
飯田川飯塚



初めての国体出場でしたが、やはり国体はふつうの大会と雰囲気が違うなあと感じました。とにかく地元の応援がすごくて、ありがたかったです。3年間の練習はきつかったですが、最後に国体に出ることができて、カヌーをやってよかったと思っています。



高校野球硬式

ひろき
門間 裕匡さん
金足農業高校3年
飯田川飯塚



夏の甲子園優勝校の佐賀北高校と対戦し、1-2で負けてしまいましたが、長く野球をやることができたこと、応援してくれるたくさんの方に自分のプレーを見せられたことがうれしかったです。

ボクシング成年

たくや
菊地 琢哉さん
東京農業大学2年
飯田川和田妹川出身



わか杉国体では、2回戦で判定負けとなり地元の応援に応えることができず残念でしたが、今後は全日本学生チャンピオンを目指し、頑張ります。



島根県

二田栄町民泊協力会

9月29日に行われた歓迎会では、地域の婦人会のみなさんが、島根民謡の「安来節」に合わせて「どじょうすくい」の踊りを披露するなど選手たちから喝采を浴びていました。

また、島根県出身の天王温泉「くらら」の大淵泰男支配人が激励に訪れ、「島根から秋田に来て31年になりました。選手のみなさんぜひ頑張ってください」と古里から来た選手たちに必勝エールを送りました。



9月28日、相撲競技の選手・監督たちが続々と潟上市入り。相撲競技の興奮冷めやらぬ10月3日にはレスリング競技の選手団が到着しました。

出会い、そして別れ。その中には、温かいもてなしやふれあい、交流がたくさん詰まっています。

市内が沸き返った2007年の秋。民泊協力会を中心に、みなさんに紹介します。



福井県

天王中羽立民泊協力会

9月28日、「新米」の申込みをした天王中羽立民泊協力会の歓迎会に、潟上市認定農業者協議会副会長の安田又吉さんが訪れ、同協力会の安田会長と一緒に「潟上市の認定農業者がまごころをこめて作った『あきたこまち』をどうぞ」と福井県チームの松田監督（少年）と岡田監督（成年）に手渡しました。

民泊した選手らにプレゼントされた新米「あきたこまち」

選手や監督たちに大好評だったのが食事。旬のものを使ったバランスの取れたメニュー、最終日は秋田の郷土料理「きりたんぼ」と心遣いされた献立が選手たちのお腹を満たしました。また、「あきたこまちの新米は甘味があつてすごくおいしい」と何杯もご飯をおかわりする光景が民泊拠点施設で見受けられました。

国体の成功は民泊にあり、そして民泊の成功はみなさんの温かいもてなしと愛情たっぷりの食事にあつたのではないのでしょうか。朝早くから夜遅くまで頑張ってくれた『調理班』のみなさんに感謝です。



大好評だった
新米・ナシ「潟上の食」

ごはんがうまい!!





京都府

潟上市羽立神明民泊協力会

10月4日に行われた歓迎会では、佐藤源之助さんが選手たちに必勝エールを送ると、京都府選手を代表し、半田守くんが協力会のみなさんにエールをお返りする場面がありました。「初めての民泊ですが、こんなに歓迎してくれてうれしい。思わずお礼をしたくなり踊ってしまった」と半田くん。



得意の弾き語りでエールを送った浅野さん



岐阜県 追分西3町内民泊協力会

9月28日、歓迎会で選手たちの激励のため、「秋田県民歌」と「岐阜県民歌」を披露。選手たちも一緒に歌い、心がひとつになりました。小森監督は「何度か民泊を経験しているが、こんな歓迎を受けたのは初めて。選手たちにもいい思い出になります」と話していました。



夫婦で
ボランティア

竹内 ^{さかえ} 榮さん
^{きよ} 京子さん
(昭和豊川田屋)

ふたりとも相撲会場、レスリング会場の選手休憩所で主に食事の世話をしました。選手たちから『ありがとう』といわれるのがうれしかったですね。他県の選手とのふれあいはもちろん、ボランティア同士の交流もできて毎日楽しかったです。若い人たちからパワーをもらって、おかげで元気になりましたよ。これからも、自分たちでできることがあればいつでもどこにでも駆けつけるつもりです。ほんとにいい国体でしたね。



会場のいたる所でボランティアが大活躍



出会い ふれあい 別れ

潟上市内が
沸き返った

2007秋



レスリングが
大好きな田口さん

富山県の選手ふたりの民泊を引き受けた田口嘉治也さん(昭和アマダ堂)

孫の嘉秀くん、可奈

さん、晃大くんは、かつて全国少年少女レスリング選手権で優勝するなど3人とも大活躍した選手で、レスリングとはことのほか縁があります。その後、嘉秀くんも晃大くんも高校球児になり、レスリングから離れてしまいましたが、田口さん宅に泊まった富山県の木下駿くんはスラリと背の高い選手。中学まで野球をやり、高校に入ってからレスリングを始めたそうです。「うちの子たちと逆なんです。これも何かの縁ですかね」と目を細める田口さんご夫妻でした。



山口県

鶴沼台児童館民泊協力会

7月13日の抽選で山口県チームの受入が決定してからすぐに、「熱烈歓迎します」と招待状を送り、情報交換と情報収集に奔走した会長の松井さん。民泊協力会の方々の協力のもと、会場の飾り付け、山口県のアカマツと潟上市のクロマツの記念植樹、おすもうさんにはスリッパよりもぞうりがいいと手作りの布ぞうりを準備し、歓迎会から送別会まで、あ

りったけの誠意でおもてなしをした鶴沼台児童館民泊協力会のみなさん。4年後の山口国体の賛助金を渡すなど細かい心遣いに感謝感謝の山口県選手団でした。



桜庭定雄さんのお宅では選手、監督ら5人が民泊。ご主人の介護をしながらも快く突然の宿泊依頼を引き受けてくれた「肝っ玉母さん」に「ありがとう」。

将来有望な高校1年生



塩口地区民泊協力会の米谷久征さん宅には、三重県少年チームの主将・森本巧くと個人戦で第3位になった滝田真くんが民泊しました。

滝田くんは、昨年の全国中学校相撲選手権大会で優勝し、中学生横綱になったことのある高校1年生。「秋田は自然がいっぱいあって、お米がおいしい」と初めて秋田に来た感想を話していました。米谷さんの奥さん洋子さんは、協力会の調理班も担当していて「食事は美味しそうにたくさん食べてくれる。将来がとても楽しみでかわいいです」と笑顔で話してくれました。



栃木県 新関民泊協力会

10月3日の歓迎会には、民泊家庭のみなさんなど約80人が参加。菅原会長は「この地は、現在秋田県レスリング協会理事長で、モントリオール五輪銅メダリスト菅原弥三郎さんの生誕の地です。レスリングにはとても縁のあるところですからみなさんも頑張ってください」と激励。また、郷土芸能の「新関ささら」が披露され、力強い踊りで選手たちにエールを送りました。

民泊協力会の設立第1号

昨年の6月に、いち早く協力会を設立した新関民泊協力会。菅原会長は「まずは行動を起こそうと、たまたま設立第1号になっただけ。民泊受け入れを自治会組織の世代交代のいい機会ととらえ、協力会の各班の班長を50歳代、副班長には長老を配置。仕事などで忙しい班長を副班長がフォローする、これが上手くいきました。やはり若い人たちは行動力・柔軟性があり、大変頼もしかったです。この国体を通して、地域、世代間の結びつきがさらに強くなった」と話していました。

上出戸 熊本県 民泊協力会

上出戸民泊協力会の調理班は総勢11人。調理班班長の佐沢喜子さんは「11人と人数が少ない分、心をひとつにして頑張りました。ほぼ全員が毎朝



団体優勝した少年チームといっしょに

食・夕食の準備や片づけをしていたので、毎日選手たちと顔を合わせ、会話を楽しみました。本当のお母さんになったみたいでしたよ」と“息子たち”のためなら大変さもどこへやらといった感じでした。

お母さんたちの心のこもった食事を食べ、熊本県チームは少年男子団体が優勝、総合成績第4位に輝きました。



山形県

出戸新町民泊協力会

9月28日、選手たちが記念の標柱を立てました。歓迎会では、出戸小児童による出戸蒼海太鼓が披露され、歓迎ムードを盛り上げました。

『大正琴花かけ会』の会員が山梨県選手団へエール

会員500人からなる「大正琴花かけ会」の小松光子さん（昭和久保）が山梨県の選手を激励するため、レスリング会場を訪れました。会の名称「花かけ」の命名にちなんでの交流が山梨県塩山市の文化協会大正琴部と続いており、数年前、山梨県でインターハイが開催されたときに、秋田県選手に応援をいただいたので、今回はそのお礼として会員がそれぞれ地元の競技会場に駆けつけたというわけです。秋田銘菓のプレゼントと突然の訪問に、うれしさをかくせない山梨県の監督さんでした。



再会を約束しました

「前々から生で大相撲を見たいと思っていました。それが、国体のおかげで迫力ある相撲を近くで見ることができ満足です。うちに泊まった片腕のすもう選手の布施くんは8歳の時に機械に巻き込まれ右腕をなくしたことなど身の上話を夜遅くまで話してくれました。明るくて、やさしくていい子です。彼の試合は、自分たちの方が緊張して力が入りました。北海道を出て、今は東京の高校で先生をしているようで、上京した時は連絡をとって会う約束をしたんですよ。早く会いたくなりました」と話す桜庭茂さん（天王字羽立片山）ご夫妻でした。

石川県

上虻川民泊協力会

上虻川民泊協力会で慰労会をしている石川県チームのところに、全日本女子レスリングのヘッドコーチとしてテレビ等でもおなじみの栄和人さん（中京女子大レスリング部監督）が突撃訪問しました。石川県チームの吉田コーチのお嬢さんが、栄監督のもとでレスリングをしているそうで、一番驚いたのは吉田コーチ。選手たちは大喜び。民泊協力会の人たちは何が何だかわからないのに拍手喝采。「国体ならではのよなあ」と言う栄監督の“サプライズ”に会場は大盛り上がりでした。



愛知県の監督・コーチ

国体では久々の民泊です。何回も国体に出場していますが、こんな心のもったおもてなしは初めてです。今までで最高の国体でした。選手たちも感激しています。和田妹川金山地区民泊協力会のみなさんには会場まで応援に駆けつけてもらって、しかも熱のこもった応援に『ほんとにたまげだ』



家族みんなでボランティア

宮城県成年Aの森隆宣さんと須藤藤孝さんの民泊を引き受けた上北野民泊協力会の石垣秀明さんは、セーリング競技のボランティアのため毎日男鹿市のマリーナへ通い、母親のフミ子さんは、商工会女性部の「おもてなし隊」として、会場でボランティアをしながら宮城県選手の応援にと大忙しでした。

セーリング競技が終わった10月2日の午後、団体予選の応援に秀明さんが駆けつけると、森さんと須藤さんが見事勝利。チーム初の1勝と森さんが個人決勝トーナメントへの進出を決めました。

森さんは「民泊は初めてですが、ホテルに泊まるよりとても環境はいいです。同じ東北だからかもしれませんね」と話していました。秀明さんは「私を待っていたかのように、選手2人が勝ってくれたのがとてもうれしい。選手と4日も一緒にいると、年の離れた兄弟のように感じています」と話していました。



応援にかけつけた埼玉県のお母さん宿がとれず困っていたらバイクに8人まとめて泊めてもらい、親子共々、上町町内民泊協力会のお世話になりました。高校生という多感な年頃に『人の親切』に触れて、これからの人生の宝物になると思います。最後の大会でこんなに良くしていただいて感謝感激です。上町町内民泊協力会バンザイ!! わか杉国体最高!!

国体への思いを 絵手紙に記し 文化祭に出展

桜庭 静子^{しずこ}さん
(昭和久保)



長崎県チームを受け入れた四元宮民泊協力会の調理班として選手たちをお世話しました。毎日会場に足を運んで応援したこと、礼儀正しい子どもたちや準備の1年間の思い、筆を走らせました。

群馬の富塚^{じんしょう}くんと染谷く^{じんしょう}んを受け入れた 伊藤甚昭^{じんしょう}さん・トクエ^{じんしょう}さんご夫妻 (飯田川下虻川)



「子どもたちは減量のため、食事を抜いたり、水も飲まなかった。そんな姿を見ていたので、本当に頑張っ
てほしくて、会場で声を枯らすだけ応援しました。この2人をお世話できてうれしかった。元気をもらいました」と伊藤さん。

送別会に参加した富塚くんのお母さん、かずこさんは「みなさんの温かさが、子どもたちの力になりました。受け入れていただき本当にありがたかった」と話していました。

送別会に参加した富塚くんのお母さん、かずこさんは「みなさんの温かさが、子どもたちの力になりました。受け入れていただき本当にありがたかった」と話していました。

群馬県 中町・土手町民泊協力会

中町・土手町民泊協力会と群馬県チームとの送別会には、選手の親や学校の先生も参加。みんなできりたんぼ鍋を囲み、選手たちの話に花を咲かせました。



民泊の感想を求められた選手から「心遣いがうれしかった。今までで一番の思い出になる大会でした」「おねえさんたち」の温かい料理がとてもおいしかった」とうれしい言葉が聞かれました。



選手たちから送られたメッセージ

また会おうね!



国体開催期間中、潟上市を訪れた選手・監督は、相撲・レスリング両競技を合わせて約1,200人。このうち民泊で受け入れたのは半数以上の約650人でした。

本格的に準備に取り掛かったこの1年、「なんとせばいいか」と試行錯誤を繰り返し、話し合い、受入体制を整えてくれた50の民泊協力会、293戸の受入家庭のみなさん。苦労が多かった分、選手たちとの思い出がみなさんの心に刻まれていることでしょう。そして、思いが深い分、見送ったあとのさみしさも大きかったのではないのでしょうか。

そんな中、現在も手紙やメールの交換をして、この間、選手たちに来てきたという中村玲子さん（天王字二田）を紹介します。



榎本くんの家族を招いての夕食会

香川で民泊選手と再会

中村 玲子さん
(天王字二田)



中村玲子さんは、相撲少年の団体が5位になった香川県の選手、吉良将弘さんと榎本勇起くんの民泊を引き受けました。

中村さんは、応援に来ていた榎本くんの家族を家へ招くなど、『香川の親戚』として交流を深めました。

国体終了後も手紙やメールなどで連絡を取り合っていました。中村さんが瀬戸大橋を見たことがないと知った榎本くんの家族が、「ぜひ大橋を見に香川に来てください」と中村さんを招待。新潟に住む孫と11月2日から4泊5日で香川に出かけ、吉良さんと榎本くんの家族らと感動の再会を果たしました。

「二人とも、明るくて優しくてとても親孝行。民泊が縁で、このような出会いが生まれたことに心から感謝したいですね」と今後も相撲を続ける二人を『秋田のお母さん』として見守り続ける中村さんです。

「レスリング競技」民泊受入一覧

都道府県(チーム)	協力会名	都道府県(チーム)	協力会名
茨城	豊川中央	愛知	和田妹川金山地区
栃木	新関	京都	潟上市羽立神明
群馬	中町・土手町	兵庫	飯塚
埼玉	上町町内	和歌山	川向町内
千葉	天神下	鳥根	南部地区
神奈川	豊川かすみ草	川賀	下屋
新潟	野村研修センター	香佐	田屋
富山	中町・山神・アミダ堂	佐長	四元宮
石川	上蛇川	熊本	古川町内
福井	昭和みつば館	児島	駅前
静岡	ふたあ		

「相撲競技」民泊受入一覧

都道府県(チーム)	協力会名	都道府県(チーム)	協力会名	都道府県(チーム)	協力会名
北海道	北谷	富山	天王立北野・塩口北野	広島	天王児玉
青森	二田三区・二田四区	山梨	天王中羽立	島根	鶴沼台児童館
岩手	緑町	福井	天王大崎	山口	二田二区
宮城	上北野	静岡	三軒屋	香徳	蒲沼
秋田	出戸新町	愛知	塩口地区	高知	二田一区
山形	追分ことぶき荘	三重	追分西3町内	徳島	天王下出戸地区
福島	天王本郷曲町集会所	岐阜	天王羽立	高松	上出戸
茨城	牛坂	奈良	天王細谷地区	宮崎	潟上市二田駅前
栃木	天王本郷ことぶき荘	和歌山	二田新町	鹿児島	江川
		山梨	二田		



国体の大成功を支えてくれた 民泊協力会へ感謝状

11月5日、潟上市民泊協力会長会議が天王温泉「くらら」で開催され、50の民泊協力会の会長が出席しました。

はじめに、各民泊協力会への感謝状が、石川市長からそれぞれの協力会会長に手渡されました。

石川市長は「国体の成功は民泊にありと言われていました。今回の大成功は民泊協力会のみならず、市民のみなさんの協力によるものです。この国体で築いた地域のつながりは、今後のコミュニティ活動やまちづくりに結びつくものと考えます。ありがとうございます」とお礼を述べました。

続いて、三軒屋民泊協力会の菅原あさ子会長、鶴沼台児童館民泊協力会の松井征光会長、潟上市羽立神明民泊協力会の伊藤義弘会長、新関民泊協力会の菅原金雄会長の4氏による事例発表が行われ、それぞれの協力会で苦労したことや選手たちとの交流の様子を語ってくれました。

三軒屋民泊協力会 会長 菅原あさ子さんの 事例発表より（抜粋）

9月28日から愛知県選手団が三軒屋にきました。受入チームが決まってから、一人一役をスローガンに毎日拠点施設の飾りつけ、のぼりの設置と大忙しの日々が続き、一人一役どころか、二役も三役もの頑張りがありました。

29日の歓迎会では、子供会児童による元気いっぱいダンスなどを披露し、選手団にエールを送りました。この日の夕食は焼肉。鉄板で焼きたてを食べていただくというグラウンドで炭をおこし、肉、野菜、ごはんのおかわり自由の大盤振る舞い。選手たちも残すことなく、すべての料理を食べてくれました。

また、民泊受入家庭には気を使わせたばかりか、お金まで使わせてしまいました。でもだれ一人嫌な顔をせず、遠方にいる息子たちが帰ってきてくれたという、家族と同じ気持ちでもてなししてくれました。

最終日、成年A団体戦で見事4位入賞。すばらしい成績で応援に駆けつけた私たちも大喜び。大会終了後、こつぶき荘で昼食を済ませ、車4台で秋田空港まで送りました。空港で一人ひとりと握手をし、別れを惜しんでの帰りの車中、無事に終わったという安堵感と、なんとなく「さみしくなったなあ」という気持ちが...

この大会期間中、住民一丸となって頑張りました。適材適所への役員配置、仕事を休んでの協力、選手たちもケガや病気もなく、元気にわか杉国体を楽しんでくれたと思います。

協力会で頑張った私たちに家族が増えました。今年には年賀状を書く枚数も増えます。愛知県選手団、感動と思い出がありがとう。私の一生の宝となりました。



盛り上がった歓迎会

まちづくりへ新たなスタート

秋田わか杉国体潟上市実行委員会

会長 潟上市長 石川 光 男

「朝早くから夜遅くまで心からのおもてなしに感謝感激でした」「潟上市が第二のふるさとになりました」「息子がたいへんお世話になりました」等々、ここ潟上市で開催された「秋田わか杉国体」相撲競技、レスリング競技少年男子の終了後、全国各地から多くの礼状やメッセージが寄せられています。その声は、全国各地の選手や監督であったり、また、その家族であったりとさまざまですが、市民との温かい交流が育まれていることをうれしく思います。



心技体に鍛え抜かれた選手たちの自信と誇りに満ちた対戦の数々は、私たちを魅了しました。それを後押ししたのは、50の民泊協力をはじめ645人の選手・役員をもてなした293の民泊受入れ家庭、市民皆様の熱い眼差しであり、声援でありました。「国体成功の力ぎは民泊にあり」で、中には一挙8人を受け入れた家庭もありました。

選手の数だけドラマがあり、出会いの数だけ感動がありました。声をからして民泊選手を応援する姿がありました。選手にとって、監督にとってどんなにか心強いものであったことでしょう。

先般の民泊協力会や民泊受け入れ家庭の皆様との懇談の席でも「選手たちと別れるのが本当につらかった」「またの再会を約束した」「新米を送ってやった」等々、まるで我が家族のように話す姿が印象的でした。正に人生一期一会を実感するひとときでもありました。

さあ、今度は、「平成のまごころ国体」として得られたこれらの貴重な体験や交流をこれからの私

たちの生活にどう、活かしていくかであります。合併3年目、「感動」と「勇氣」と、そして「自信」。今号の広報「かたがみ」を国体特集号として思い出を語り継ぎ、その思い出をより鮮烈なものとして、今度はまちづくりのエネルギーに変えていくことを確認できれば、たいへん幸甚に存じます。

最後に市民皆様のますますのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。お礼のあいさつといたします。



精いっぱいのおもてなしとまごころが
選手たちに届き、たくさんの思い出を残して
感動のドラマが幕を閉じました



第62回国民体育大会
秋田わか杉国体
特集号

平成19年(2007年)
11月15日発行

秋田わか杉国体潟上市実行委員会発行

潟上市役所／潟上市天王字上江川47-100 電話018(878)2211 編集・総務部総務課広報統計班 印刷／秋田協同印刷株式会社

ホームページ／<http://www.city.katagami.lg.jp/>

メール／info@city.katagami.lg.jp